

人から人へ  
広がる人の輪

個人個人が繋がる時代に

## 人と人との繋がりが

3.11の震災以降、茨城県内では復興イベントや市民活動がいろいろな場所で見受けられるようになりました。もちろん、震災以前から様々な地域イベントが行われていましたが、震災前後では、そうした活動にも変化があるように感じます。それは、**人と人との繋がりの強さ。イベントや活動に共感した人が、自らも積極的に関わろうとする姿勢。**それは、今後の地域社会のあり方や経済活動の方向性を探る上で、とても重要な変化だと思っています。

## 茨城を元気にしたい

そうした中で、茨城の人たちを励まし元気にする「**がんばっぺ！茨城**」という活動が、たくさんの人に広がり、共感

されています。これはひたひたなか市商工会議所の小泉力夫さんと平井情報デザイン室の平井夏樹さんが中心となってはじまったプロジェクトです。



Webサイト  
<http://sites.google.com/site/gambappeibaraki/>

—Webサイトから震災で人のつながりの大切さを学びました。みんなで励ましあえば立ち上がることができそうです。仲間が一体となれば、前向きに進んでいくことができます。そのきっかけをつくるために私たちは「がんばっぺ！茨城」プロジェクトを開始しました。（中略）「がんばっぺ！」は地域を愛し、仲間と気持ちを共有する言葉です。茨城の底力を信じるフレーズです。

このプロジェクトは、FacebookやTwitterなどのSNSでの交流からスタートしました。「がんばっぺ！茨城」のマー

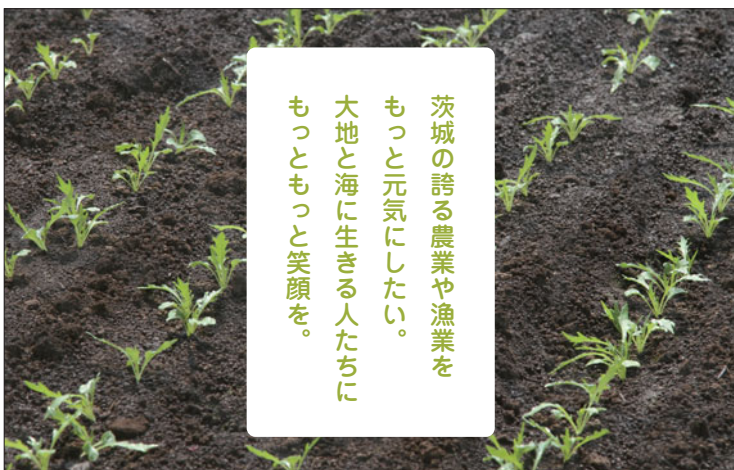
クがデザインされたことで缶バッジやステッカー、コースターなどが作られ、インターネット上のコミュニケーションから、リアルなコミュニケーションに発展しています。

## SNSの可能性

人の輪が、これまで以上に価値のあるものになっている。そして、それが実際に様々な活動に繋がっています。FacebookやTwitterなどのSNSが、そのコミュニケーションの広がりを効果的・効率的にサポートしています。インターネット上でも「顔の見

える」コミュニケーションが行われることで、情報の信頼性と共感度は格段に向上しています。特にFacebookによる、今後益々注目されるでしょう。Facebookのように個人と個人が、組織や立場を超えて交流できる機会は、現実にはなかなかありません。人と人が繋がり、交流するといふSNSの機能性は、様々なプロジェクト、企業活動、地域コミュニティを活性化させる可能性を秘めています。

（田中宏光）



茨城の誇る農業や漁業をもっと元気にしたい。  
大地と海に生きる人たちに  
もっともっと笑顔を。

いばらきを  
デザインします。

